



【先週 3月22日～3月28日の外食の出来事】

■訪日外客数、2020年2月はCOVID-19の影響を受け58.3%の大幅減

日本政府観光局(JNTO)は、2020年2月度の訪日外客数推計値を発表。2月の訪日外客数は、108万5千人(前年同月比58.3%減)と、昨年2月の260万4千人を約152万人下回り、5ヶ月連続で前年同月を下回った。

■バーガーキング、15ヶ月連続プラス

「バーガーキング」が、2018年12月～2020年2月の15ヶ月間にわたり既存店売上高が連続プラスとなった。直近の2月は前年比121.4%という大幅増収。

■ペッパーが継続企業の前提に関する注記 新型コロナで売上減少

ペッパーフードサービスは2019年12月期の有価証券報告書に、投資家に注意を促す「継続企業の前提に関する注記」を記載すると発表。新型コロナウイルスの感染拡大で3月以降の来店客数が減り、売上高も減少している。

■銚子丸、第3四半期(2019年5月16日～2020年2月15日)の業績 増収増益

2020年5月期 第3四半期の業績は売上高148億500万円(対前年同期比4.4%増)、営業利益4億6500万円(同0.6%増)、経常利益5億800万円(同4.8%増)、四半期純利益2億8000万円(同10.4%増)と増収増益。

■2020年2月の外食売上高、前年比104.8%と4ヶ月連続で前年を上回る

2月は、新型コロナウイルスの影響が、業態、立地等によって明暗が分かれた。FFが好調な持ち帰り需要に支えられ上振れした一方、DR・居酒屋業態は、インバウンドや宴会需要の減少で客足が減少し売上への打撃が目立った。

■すたみな太郎、ビュッフェ自粛で、12店舗はそのまま閉店

焼肉、寿司など食べ放題がウリの「すたみな太郎」が全約140店舗で5日から営業を自粛していたが、12店舗をそのまま閉店させる。お年寄りや母親など感染に敏感に反応する客層が多く、再開してもお客は戻らないと判断。

■出前館、300億円でLINE傘下に ウーバーイーツが圧倒

LINEグループが、デリバリー代行サービスを展開する株式会社出前館の300億円の第三者割当増資を引き受け、子会社化すると発表した。ウーバーイーツに圧倒された。LINEグループ傘下で立て直す。

■札幌の「半田屋」FC、倒産 新型コロナが止め

「大衆食堂半田屋」のFC加盟企業、株式会社セブンレストランシステムが、新型コロナウイルスの影響から来店客が減少し、3月20日に事業を停止し倒産したと帝国データバンクが発表した。負債は約1億3000万円。

■丸千代山岡家、2020年1月期(‘19年2月～’20年1月)の業績 増収増益

2020年1月期 通期の業績は売上高141億600万円(対前年同期比10.0%増)、営業利益6億1100万円(同50.5%増)、経常利益6億6200万円(同51.3%増)、当期純利益2億7700万円(同743.3%増)と増収増益確保。